



<3.24 ストライキ報告号>

「しょうがない」「決まったこと」…

うち破るストライキの力 次は職場全体でやろう!!

3月24日、動労福島は28日から車体科2組の外注化の強行に反対して、橋本光一委員長の指名ストライキを決行し、全組合員と支援の仲間40人で、組合結成以来初のストライキ闘争を終日、闘いぬぎました。闘いはこれから、ここからです。ともに闘おう！

デモ出発地点の小原田公園にて。地元の労組、新潟、仙台からも支援に駆けつけてくれた。



定年延長！外注化阻止！非正規職撤廃！被曝労働許さない

ストライキ1日行動

①朝ビラ配布&門前アピール



いつも以上にビラの受取りがよく、声援をくれる同僚もいました！

②車両センター1周デモ



デモの声は聞こえたかな？

③JR仙台支社 抗議行動



動労総連合の仲間も駆けつけての抗議行動

3.24 ストライキ&デモ

ブログを開設しました！

ブログでしか見られないストライキの写真も掲載しています！

闘いや日々の活動様子を掲載しています！ぜひ、アクセスして下さい☆

※アドレスは上記に掲載。

3.24
仙台支社前アピール

動労福島 橋本 光一 委員長
(郡山総合車両センター)



事故は不可避 支社は現場の声を聞け！

郡工は多くの車両の修理を担っている職場であり、簡単にできるものではない。「教育」の見極めでは管理者すら「できていない」と言っている状態だ。それでも外注化するというのか！事故は不可避だ。支社は現場の声を聞け！

石井委員長はじめ3人で駆けつけてくれた動労水戸



動労水戸 照沼 靖功
(勝田車両センター)

支社の平成採用のみなさん、上司の言うことに唯々諾々と従っているだけで、いいわけがない。間違っていることに間違っていると云わなくてはならない。

JRと関連会社に分断して、安全に対する責任を誰もとらない中で事故が多発している。安全を無視し、労働者の誇りを奪う外

注化。命よりカネを優先する会社ではなくて労働者こそ職場を回しているんだ！

動労水戸 會澤 憲一
(水郡線運転士)

施策を何でも強行する会社とそれに反対しない労働組合、安全は神様頼みの社長、こんな社会、会社でいいのか！おかしいことにおかしいと言いましょ！

★全国からストライキ連帯メッセージが届きました！

- ・動労連帯高崎
- ・動労神奈川
- ・国労秋田闘争団・小玉 忠憲さん 「ともに闘う秋田の会」
- ・徳島医療労働組合 他

※ブログに掲載しています！

3/15 籠原駅 炎上
動労連帯高崎がピラで弾劾しています。

ピラで事故の内容を詳しく掲載しています。ぜひご覧下さい。
<http://kumashien.web.fc2.com/2016/20160319.pdf>

動労福島申第4号
2016年3月24日

東日本旅客鉄道株式会社
執行役員 仙台支社長 松木 茂 殿

国鉄福島動力車労働組合
執行委員長 橋本 光一

郡山総合車両センターに搬入された 原ノ町駅被災車両に関する申し入れ

現在、郡山総合車両センター内に、老朽化した651系の車両と415系車両が留置されています。これらの車両は、3月18日の福島民報の記事からすれば、東日本大震災と原発事故以来約5年間原ノ町駅に留置されていた車両で、老朽化のために場内において解体されるものと推測されます。

これら車両は2011年3月11日の東日本大震災で被災し、事故を起こした福島第一原発から約25キロ地点に約5年間もの長い間、放置され続けていた車両です。私たちは大変不安を感じています。特に心配するのは、プルトニウムなどの大変危険な放射性物質が車両に付着しているかもしれないということです。プルトニウムは極めて微量でも吸いこんだら癌を発症させる猛毒物質です。車両解体の過程で粉塵と一緒に飛散することは避けられません。

解体作業に従事する労働者はもちろん、郡山総合車両センターで働く労働者の健康を守るためにも、これら車両に対する放射能対策を講じるべきです。

具体的には、放射線量はじめプルトニウム等の危険な核種の有無を測定し公表することと、車両の放射能に関する安全性が確認されるまでは、解体作業等を行わないことを要求します。

以上

被曝労働ゆるさない！ 仙台支社に提出しました